

社会福祉法人祥和会

2020年(令和2年)度事業報告

地域密着型特別養護老人ホーム五本松の家
ショートステイ五本松の家
デイサービスセンター五本松の家

【施設の概要・職員配置】※2021年3月31日現在

事業所名	定員	職員数（全体計：49人）	
地域密着型特別養護老人ホーム五本松の家	29人	施設長、介護職員15人 看護師、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員	10人×2ユニット・ 9人×1ユニット
ショートステイ五本松の家 （短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）	20人	管理者、介護職員10人 看護師、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員	10人×2ユニット
デイサービス五本松の家（通所介護・介護予防通所介護）	25人	管理者、介護職員6人 看護師、生活相談員、管理栄養士等	

職員配置につて、中途の退職等があったが随時補充できた。看護師の員数が満たされ、看護体制加算Ⅱ、個別機能訓練加算の算定を再開した。

令和3年1月に実施された介護福祉士国家試験において4人が受験し全員合格となっている。

【事業区分別事業報告】

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当施設においても家族の面会制限、外出制限、集団のイベントなどがすべて中止や、制限をすることとなる。

例年の行事を縮小、または変更し、入居者、利用者のニーズに沿って、感染症対策を行いながら行事の開催とした。

家族の面会は、7月より窓越しの面会を再開したが、行事にご家族の参加は困難であったため、行事や日常の様子を文章と写真で作成し、毎月請求書と一緒に郵送するとともに、SNS（ホームページ、LINE、Instagram）の利用を促し、日常の様子を発信した。

また、職員研修、委員会開催において、施設内にて換気やソーシャルディスタンスに配慮し、人数制限を行い、回数を調整し実施した。

特に上半期は、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいる事業所として、NHKの取材を受け、また水害訓練を毎年実施している事業所として、共同通信社の取材を受け報道がなされた。

広島県「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」並びに、福山市「新型コロナウイルス感染症オンライン面会システム事業」等の補助金を活用し、空気清浄機やタブレット等を導入し、当施設における新型コロナウイルス感染症対策を図った。

1) 地域密着型特別養護老人ホーム五本松の家

【2020年度目標】

1) 2019年度に続き、入居者やご家族の安心・安全の確保、健康管理に重点を置き、職員の知識、技術の向上に努める。昨今重介護者が増えており、看取りケアの知識を深め、家族とともに入居者の看取りを支援する。

2) 常時稼働率98%以上を継続するとともに、退居から新規入居までの日数を7日以内とする。

入居者の平均年齢(令和3年3月1日現在の入居者)は、86.1歳(男性:83.6歳・女性:87.2歳)。平均入居期間は、29.4か月となっている。

令和2年度中入居者36人(実人数)の要介護度は、4.29(男性:4.05、女性:4.4)となっている。

2020年度中利用率は、98.59%、退居者は7人、その内訳は、施設での看取り6人、医療機関死亡1人、退居から入居までの日数は、最短で4日、最長で8日、平均5.1日。

新規入居者は7人、入居前の内訳は、在宅5人、グループホーム1人、老人保健施設1人となっている。

2020年度コロナ禍にて実施した行事には制限が多く、全体開催を控え、各ユニットで外出制限のストレス改善等を検討しさまざまなイベントを開催する。

※各行事は、特養・ショートステイ・デイサービスともに開催。

4月	デイサービス休止(4/11~)短期入所新規受け入れ中止 お花見お団子作り、桜の花・たんぼぼ作り
5月	柏餅づくり、母の日カーネーションづくり
6月	足つぼマッサージ、あじさい作り 体づくり デイサービス、短期入所新規受け入れ再開 美容院再開(月1回)
7月	窓越し面会開始。(時間を決めて予約制にて開始) 美容院(月2回再開) 風船卓球バレー 七夕・夏祭り行事、部門ごとに開催 排泄ケア研修(30日)
8月	花火大会(2階特養) かき氷・すいか割り・魚釣りゲーム・炭坑節を踊ろう!
9月	花火大会(どんぐりユニット) 敬老の日お弁当・各部門でお祝い(敬老会) お月見団子づくり、写真フレームづくり

10月	ハロウィンカフェ（今年は各部門での開催） おやつレクリエーション（炊き込みご飯16日） インフルエンザ予防接種
11月	秋の味覚を楽しむ会（柿・ワインゼリー）10日・11日 ドライブ（1日・8日） 風船バレー大会（16日） 読書の秋・栞づくり（10日）
12月	Web 面会開始 クリスマスイベント（リース・ケーキ作り）10日～20日
1月	お正月イベント（鳥居で初詣・福笑い・絵馬・おみくじ引き）1日～10日 スナックヤング（特養利用者対象にご家族にお酒を用意していただいた）
2月	節分行事・壁画作り・バレンタイン企画（20日・25日） 豆まき（2日）
3月	ひな祭り（3日） チューリップ摘み（15日） おやつレクリエーション（蒸しパン・17日） ダンス（15日・16日）

2) ショートステイ五本松の家

2020年度のショートステイ五本松の家の目標は、

- 1) 居宅介護支援事業所との連携を密にとり、稼働率85%以上を保つ
- 2) 要介護度（3～5）の高い利用者の受け入れを積極的に行う

2020年度の利用率は、81.77%、年度内利用者実人数は65人、その内訳は、男性23人、（平均利用日数：75日）女性42人（平均利用日数：101）となっている。

3月31日現在の利用者の平均年齢は、男性85.7歳、女性86.3歳、全体では86.1歳となっている。

介護報酬の算定に当たり、「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて」（令和2年6月1日厚労省老健局発出）通知により、利用日数の3分の1の日数について、令和2年7月1日から令和3年3月31日まで「緊急短期入所受入加算」を算定した。

毎月季節行事、おやつレクリエーションや作業療法など、様々な行事を取り入れ、さらに毎日体操を実施し、自立支援に取り組み実施。

難病や、歩行制限がある方、在宅酸素を使用している利用者や重度の認知症の利用者など、医療依存度が高い利用者に対しても、受け入れ前に勉強会を行うなど、積極的に受け入れるための取り組みを行った。

新型コロナウイルス感染症における対応として、ユニット間の移動制限、入所時抗原検査の実施、外出制限、WEB診療、窓越し面会など様々な取り組みを行い感染予防を徹底した。

外出制限のため、入所者のストレスも高く、様々なイベントを企画し、写真を取り、さらに、家族やケアマネジャー向けの広報誌「ほっと五本松の家通信」を作成し、配布を行って、施設内の様子を発信する。

3) デイサービス五本松の家

2020年度のデイサービス五本松の家の目標は、

- 1) デイサービスが日常を過ごす場所の1つになるよう、利用者の生活のリズムや思いに寄り添った関わりを提供する。
- 2) 新規利用者を増やし、稼働率75%以上を保つ
- 3) 一人一人の利用者の利用時間やケアプランを見直す。

利用者実人数は、64人、その内訳は、男性24人（平均年齢：82歳、平均介護度：3）、女性40人（平均年齢：84歳、平均介護度：2.4）。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年4月11日から5月31日までの休業期間を設け、6月より利用定員制限をかけた環境下での運営を再開したため、年間延べ利用者数2,805人、昨年の利用率67.2%に比して36.2%と大幅な減となっている。

介護報酬の算定に当たり、「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて」（令和2年6月1日厚労省老健局発出）通知により、実際提供時間の2区分上位を令和2年7月1日から令和3年3月31日までを算定した。

職員は、感染症対策の再徹底ならびに送迎時等による感染経路の遮断に努め、利用者への感染防止協力体制への説明についても重点的に行う。

デイサービス（以下：デイ）の売上増に向け、営業ツールを増やし各居宅支援事業所への営業活動も積極的に開始する。

デイの提供内容については、1日のスケジュールを作成し、

午前：運動プログラム、脳トレ等、入浴サービス 午後：レクリエーション、季節の行事等の実施することを基本ベースとし、さらに細分化したタイムスケジュールの作成し提供。利用者のデイにおける生活リズムも安定させる試みを行う。それに併せ最新のデイの様子を写真にて伝えることや次月イベント・レク内容を伝える為にデイ通信を配布したことで、利用者本人・家族・担当ケアマネジャー等からの好意的評価が得られた。

利用者の受け入れ状況としては、認知症有する方が大半を占めている状況は変わらず、他施設で受け入れが難しい利用者においても継続して受け入れを実施していくものとする。

【法人、職員、地域交流スペース等行事報告】

4月	<p>入社式、職員研修・オリエンテーション</p> <p>社会福祉法人祥和会 Instagram 開始</p> <p>『全国各地域で注目される通いの場』“人生 100 年時代の地域づくり” 冊子に掲載</p>
5月	<p>夜間対応水害訓練（22日）</p> <p>NHK取材（コロナ対応策における取組紹介）（15日、20日）</p> <p>NHK お好みワイドひろしまにて放送（22日）</p> <p>町内一斉清掃参加（22日、24日）</p> <p>介護現場に広島産ガウンを～クラウドファンディングに協力</p> <p>マスクポスト設置</p>
6月	<p>理事会・評議員会（書面決議）</p> <p>職員健診（新入職員・夜勤をする職員のみ）（13日、17日、20日）</p> <p>暮らしの保健室ふくまち視察（好縁会4人）（5日）</p> <p>好縁会・下山先生見学（4人）</p>
7月	<p>共同通信社電話取材（水害対応について）新聞掲載。</p> <p>美作大学・武田ゼミ学生施設見学（13日）</p> <p>おしゃべり体操教室再開（10日）その後中止。</p>
9月	<p>建物検査（2日）</p> <p>美作大学・社会福祉学部・介護専攻科訪問（11日）</p> <p>公民館主催いきいきサロン・フレイル予防（16日）地域より参加</p> <p>五本松長寿会にて百歳体操実施（24日）担当：和木・田原</p> <p>レジオネラ菌検査・貯水槽清掃・点検（30日）</p> <p>城南中学校・ペットボトル収集協力開始・・・2月まで</p> <p>理事会（書面決議）</p>
10月	<p>職員健診（新入職員・全職員）（10日、14日、24日、31日）</p> <p>専門職による健康相談・保健指導の提供を行う地域に根付いた窓口に関する調査会議に参加（4日・田原）</p> <p>インフルエンザ予防接種</p> <p>ふんわりチャンポン大作戦～ライオンハートケアサポート計画～に参画</p>
11月	<p>評議員選任解任委員会開催（18日）</p> <p>暮らしの保健室ふくまち・おしゃべりウォーキング開催</p> <p>スタッフスポーツクラブ開始（エフピコアリーナ活用）</p>
12月	<p>Web面会開始</p>
1月	<p>抗原検査（特養・ショート職員対象）</p> <p>地域包括ケア時代に活躍する看護職 コミュニティナースとは（23日 Web セミ</p>

	ナーにて報告・田原)
2月	PCR検査(特養・ショート職員対象) 暮らしの保健室ガイドブックに当施設「暮らしの保健室ふくまち」掲載 暮らしの保健室全国オンライン全国フォーラムに参加(6日・田原)
3月	PCR検査(特養・ショート職員対象) 福山医療学園にて施設紹介(2日)田原 消防避難訓練(5日・31日) 理事会(17日)評議員会(30日)

【委員会・会議報告】

会議・委員会名	頻度・実施	参加者等
経営・運営会議	週1回・月曜日	理事長・事務局長・理事・事務・施設長
運営推進会議	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月より中止	
リーダー会議	月2回	施設長、主任・管理者・各リーダー等
安全衛生会議	月1回	施設長、主任・管理者・各リーダー、各専門職等
ユニットミーティング	月1回	各ユニットスタッフ
ケアプランミーティング	必要時	施設長、主任・介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、ユニットスタッフ、看護師等
事故防止委員会	月1回	担当委員(清川・各部署代表)
感染防止委員会	月1回	担当委員(石井・各部署代表)
身体拘束廃止委員会	月1回	担当委員(西原・各部署代表)
栄養・褥瘡防止委員会	月1回	担当委員(新山・森川各部署代表)
企画委員会	2か月に1回	担当委員(古志・各部署代表)
研修委員会	2か月に1回	担当委員(正明・各部署代表)

■法人本部 事業報告(新型コロナウイルス感染症拡大のため、殆どが書面で対応)

【理事会】6月(書面決議)、10月(書面決議)、3月

【評議員会】6月(書面決議)、3月

【監査】5月(個別訪問)

【評議員選任・解任委員会】11月、3月

【運営推進会議】新型コロナ対策のため中止

【入所判定会議】9月、3月

■地域交流スペース・法人事業報告

地域交流スペースでは、毎週月・水・金の午前中、「暮らしの保健室・ふくまち」相談事

業については開催、毎週金曜日（10時半～11時半）に地域の方々、入居者家族などを対象に、「おしゃべり体操教室」を行っていたが、中止、再開を繰り返し、11月より、百歳体操からウォーキングに切り替えて実施した。。

地域の人が集まって行う会は未開催であったが、「暮らしの保健室ふくまち」の紹介、取材を受け、さらに書籍「暮らしの保健室ガイドブック」に掲載の機会を得る。

■職員に関すること

2020年度4月、1人の入職者を迎えスタートし、今年度の採用者は、10人（介護職員7人、看護職員1人、調理員2人）退職者は8人となっている。

新型コロナウイルス感染症のため、新入職員歓迎会、定期的な職員交流会は今年度開催することが難しく、LINEワークスを取り入れ、さらにzoomを使用し、職員同士の情報共有、職員交流を図る

また地域活動への参加も積極的に行い、町内一斉清掃の溝掃除への参加、集会所の清掃等への参加も行う。

新型コロナウイルス感染症対策として、月に2回の抗原検査またはPCR検査等を積極的に行い、感染予防管理を徹底しました。発熱や体調不良等の対応も早期対応を行い、感染症を発症する者はいなかった。

■2020年度まとめ

2020年度は、「新型コロナウイルス感染症」における対策、対応、予防、そして発症時の対応など、施設全体として様々な検討を行い。デイサービスの休止、再開、ショートステイの利用制限、利用者、入居者の外出制限、会議や研修会の開催制限、イベントの中止など、初めての経験で戸惑いも多くスタッフ全員での研修会を繰り返し、計画の修正を行い、そして実際のシミュレーションなどを行うとともに積極的に検査にも取り組み1年間感染症を予防することができた。

また、施設での看取りも定着し、スタッフ全員で看取りに取りくんでいく体制づくりができ、お一人お一人の状況にあわせて、ご家族とスタッフが一緒に看取りケアを行い、6人の入居者のお看取りができた。

課題も多く残ったが、事業ごとの広報活動や、スタッフ主導のイベントやSNSの活用など、コロナ禍でできることを施設全体で模索し取り組む姿勢が確立し、大きなイベントや、外部とのかかわりは激減したが、そのようななかでも、ご家族や地域への情報の発信、かかわっていただけることを模索しながら施設内イベントを開催する。

2021年度は、引き続き感染症対策を継続し、デイサービス、ショートステイの拡充、利用者主体の運営、広報活動を行っていきたいと思います。